

栽培管理支援システムで見てみよう！ 圃場ごとの生育ステージ予測

The screenshot shows the system's registration and prediction interface. On the left, there's a map with a list of coordinates and field names. On the right, a form for registration is shown with fields for '圃場' (Field) and '作付け' (Planting). Below that, a table for '品種' (Variety) and '播種日' (Sowing date) is visible. At the bottom, a '生育ステージ予測' (Growth stage prediction) section shows a timeline with '予測日' (Prediction date) and '実際の日付' (Actual date) inputs.

①地図から圃場を登録

②品種、播種日融雪日(任意)を入力

③生育ステージ予測

④実測日を入力して予測を補正できる

3. 留意点

- (1) 気象状況に応じた営農指導や栽培管理の意思決定支援情報として活用できます。
- (2) 栽培管理支援システムは2021年3月まで公開予定であり、利用希望者は栽培管理支援システム HP (<https://magis.jp/>) から申請してください。
- (3) WOFOST プログラムに関連するデータ解析ファイルは道総研農業研究本部から提供できます。

(成績名：気象情報および作物モデルを用いた秋まき小麦の生育収量変動の評価・予測法)

もう少し詳しい情報はこちら
(スマホでの閲覧はお勧めしません)

検索は、「農業技術情報広場、一般課題 H31」で



本技術内容についての問い合わせ先
道総研中央農業試験場
電話 (0123) 89-2001
E-mail: central-agri@hro.or.jp